

第26回参議院議員通常選挙比例代表



自見はなこ氏

医療・介護関係候補者 10名のうち

トップ当選!!



宮城県医師連盟委員長
佐藤和宏

**自見はなこ氏・桜井充氏
当選おめでとう!**

第26回参議院議員通常選挙は、私たちの応援した比例区の自見はなこ氏、地方区の桜井充氏が当選しました。お隣の福島県地方区でも、福島県医師会副会長であった星北斗氏が当選しましたが、医師仲間の当選の報告は誠にうれしいものであり、今後の活躍に大いに期待したいと思います。

また、ご協力いただいた多くの先生方、友好団体の皆様、そして政治家の皆様方に深く感謝いたします。桜井氏、星氏はそれぞれ約20万票差、約10万票差の圧勝でありましたが、比例区の自見はなこ氏も、医療介護系候補者10名のうちトップ当選、自民党比例区当選の8番目（実質は6番目）という立派な成績だったと思います。しかし、欲を言えば宮城県の得票数3344票は、頑張った割には思ったほどの得票ではなかったと少し残念に思いました。

投票数の分析から

今回はコロナ禍の最中でもあり、以前のように各医療機関回りは控えました。しかし、郡市医師連盟、友好団体、政治家の皆様方へのアプローチなどは必死にならなければならず、目標の得票数は5000票でしたが、結果は遠く及びませんでした。委員長としての責任を感じております。政治家の皆様方とおつきあいは、選挙のときのみ「よろしくお願ひします」

宮城県医師連盟組織強化委員会の設立

と言っても表面的なものに映ると思います。やはり普段からの交流が必要です。友好団体との交流も同様です。また一番は、やはり宮城県医師連盟の活動の活性化が普段から必要ではないかと考えます。

これらを反省して、今後は次のようにしたいと考えています。すなわち、常設委員会として「宮城県医師連盟組織強化委員会」を立ち上げます。当連盟の開業医の加盟率は50%を切っており、全国で下から4番目です。これではいけない。何とか組織の強化を図っていきます。また、政治家との普段のお付き合いも以前にもまして、強力に行います。

医師でありながら、政治にうつつを抜かすのは医師にあるまじき行為だと思っている方も、あるいは多いかもしれません。しかし、政治連盟の活動を行うのは、偏に私たちの生活を守るためであり、診療報酬改定を不利にしないためです。今回のコロナ禍でのコロナ交付金は約16兆円ともいわれています。これがどこに使用されたのかは、既に明らかになっています。こうしたことを決めるのは「すべて政治家、しかも与党の政治家」なのです。好き嫌いかかわらず、医師連盟の活動を行うべきなのです。

九州地区は、福岡県を筆頭にして常に高い得票を誇ります。その秘訣も聞きましたが、そうしたことも踏まえて今後の連盟の活動を展開します。先生方の周囲の先生の、医師連盟へのご加入もぜひ、よろしくお願ひ申し上げ、今回の参議院選挙の総括とさせていただきます。今回は、本当にお世話になりました。

全国
宮城19位
3,344
票

213,369 票獲得 自民党内 33人中 8位

都道府県	得票数	順位	都道府県	得票数	順位	都道府県	得票数	順位	都道府県	得票数	順位
北海道	4,707	14	東京	23,660	2	滋賀	1,272	42	香川	1,287	41
青森	1,180	43	神奈川	10,528	3	京都	3,091	21	愛媛	2,039	30
岩手	2,322	28	新潟	1,775	34	大坂	8,248	5	高知	1,085	45
宮城	3,344	19	富山	1,724	36	兵庫	6,302	9	福岡	34,399	1
秋田	1,756	35	石川	2,931	22	奈良	2,670	25	佐賀	2,906	23
山形	1,593	39	福井	1,722	37	和歌山	1,128	44	長崎	5,127	12
福島	2,276	29	山梨	1,674	38	鳥取	1,372	40	熊本	6,353	8
茨城	4,264	16	長野	1,996	31	島根	1,010	47	大分	3,604	18
栃木	2,647	26	岐阜	5,127	12	岡山	3,959	17	宮崎	2,574	27
群馬	6,591	7	静岡	5,407	11	広島	3,134	20	鹿児島	5,449	10
埼玉	7,472	6	愛知	9,716	4	山口	2,754	24	沖縄	1,798	33
千葉	4,432	15	三重	1,905	32	徳島	1,059	46	計	213,369	-

第20回～26回参議院議員通常選挙市区町村別得票数

市区町村名	第20回 西島英利	第21回 武見敬三	第22回			第23回 羽生田たかし	第24回 自見はなこ	第25回 羽生田たかし	第26回 自見はなこ		
			西島英利	安藤たかお	清水鴻一郎				連盟会員数	得票数	連盟1人当り得票数
青葉区	488	539	191	97	17	622	529	660	275	807	6.56
宮城野区	173	214	53	52	12	222	165	172		275	
若林区	135	157	33	37	7	173	93	162		161	
太白区	173	177	44	46	12	220	169	202		238	
泉区	218	280	71	79	10	296	204	281		322	
白石市	71	69	22	26	1	56	54	98	12	39	4.75
蔵王町	17	23	7	4	0	13	18	21		17	
七ヶ宿町	1	1	0	0	0	0	2	1		1	
大河原町	16	20	6	3	1	20	19	41	21	47	5.81
村田町	8	14	2	1	1	8	8	7		13	
柴田町	44	39	15	3	0	41	29	43		57	
川崎町	14	10	2	0	0	1	2	8		5	
角田市	44	35	8	6	3	42	29	48	11	69	7.00
丸森町	9	20	5	7	0	7	8	14		8	
亘理町	51	56	16	5	0	34	31	30	15	38	3.40
山元町	31	36	8	11	0	21	10	18		13	
岩沼市	55	36	19	19	2	63	52	53	14	66	4.71
名取市	60	76	23	26	2	61	54	64	19	113	5.95
塩釜市	87	121	25	11	0	59	119	121	50	64	3.60
多賀城市	52	86	27	14	1	69	69	92		60	
松島町	39	271	16	3	3	12	13	15		7	
七ヶ浜町	18	19	14	4	0	12	18	30		17	
利府町	30	47	12	1	0	35	34	29		32	
大和町	30	40	13	7	0	21	16	24	13	21	5.92
大郷町	6	13	4	2	0	5	1	2		1	
富谷市	30	33	18	14	1	41	27	40		55	
大衡村	11	13	0	1	0	3	1	0		0	
色麻町	6	4	1	1	0	17	1	9	8	5	5.38
加美町	54	62	17	8	0	82	19	50		38	
大崎市	233	319	80	23	0	220	174	195	46	165	3.59
涌谷町	24	27	3	4	0	21	14	16	9	35	7.11
美里町	32	25	7	11	2	22	26	32		29	
東松島市	84	42	6	8	2	20	11	32	56	38	2.59
女川町	3	3	0	1	0	0	0	0		0	
石巻市	110	162	57	44	0	112	89	190		107	
登米市	107	99	34	11	3	89	119	113	20	104	5.20
気仙沼市	88	135	41	11	0	96	113	139	18	213	12.39
南三陸町	88	94	2	5	0	89	21	19		10	
栗原市	53	78	32	13	1	66	59	56	18	54	3.00
計	2,788	3,495	934	619	81	2,991	2,420	3,131	605	3344	5.53

比例選得票数（自民党）

当 特定枠 藤井一博新	118,222	小川克巳現
当 特定枠 梶原大介新	113,873	木村義雄元
当 528,053 赤松健新	101,840	宇都隆史現
当 414,371 長谷川英晴新	93,380	園田修光現
当 373,786 青山繁晴現	82,920	水落敏栄現
当 298,091 片山さつき現	74,972	藤末健三元
当 247,755 足立敏之現	63,714	岩城光英元
当 213,369 自見英子現	59,007	河村建一新
当 187,740 藤木眞也現	55,804	吉岡伸太郎新
当 175,871 山田宏現	54,646	えりアルフィヤ新
当 174,335 友納理緒新	24,576	尾立源幸元
当 172,640 山谷えり子現	20,638	向山淳新
当 165,062 井上義行元	18,561	有里真穂新
当 150,759 進藤金日子現	17,542	高原朗子新
当 148,630 今井絵理子現	7,762	遠藤奈央子新
当 138,994 阿達雅志現		
当 127,188 神谷政幸新		
当 118,710 越智俊之新		

県内比例選得票数（自民党）

当 特定枠 藤井一博新①	当 1,603 友納理緒新①
当 特定枠 梶原大介新①	当 1,480 神谷政幸新①
当 8,720 足立敏之現②	当 1,479 越智俊之新①
当 8,655 赤松健新①	1,400 木村義雄元①
当 5,414 長谷川英晴新①	1,215 小川克巳現①
当 5,068 片山さつき現③	1,064 水落敏栄現③
当 5,031 青山繁晴現②	542 えりアルフィヤ新
当 4,747 進藤金日子現②	541 河村建一新
当 4,543 山谷えり子現④	535 藤末健三元③
当 4,521 阿達雅志現③	453 岩城光英元③
当 3,344 自見英子現②	409 尾立源幸元②
当 2,633 藤木眞也現②	219 吉岡伸太郎新
当 2,593 井上義行元②	202 向山淳新
当 2,429 山田宏現②	176 有里真穂新
当 2,260 今井絵理子現②	136 高原朗子新
1,792 宇都隆史現②	63 遠藤奈央子新
1,719 園田修光現①	

○内数字は当選回数

宮城県選挙区得票数

市区町村名	桜井 充	小畑仁子	ローレンス綾子	平井みどり	中江友哉
青葉区	58,956	38,858	8,058	14,437	2,953
宮城野区	36,764	20,820	4,406	8,399	1,855
若林区	26,284	16,047	3,413	6,449	1,380
太白区	43,554	31,305	5,627	10,407	2,354
泉区	43,506	29,971	5,430	9,933	1,929
白石市	7,755	4,201	663	1,243	332
蔵王町	3,051	1,179	254	447	108
七ヶ宿町	451	191	36	36	11
大河原町	5,373	2,811	511	919	207
村田町	2,936	1,298	238	335	105
柴田町	8,373	4,084	835	1,487	343
川崎町	2,484	874	157	257	98
角田市	6,806	3,234	556	937	247
丸森町	3,327	1,425	211	452	94
亘理町	7,424	3,511	689	1,355	297
山元町	3,075	1,282	228	424	105
岩沼市	8,803	4,851	909	1,678	360
名取市	16,195	9,041	1,883	3,294	852
塩釜市	11,562	6,567	1,283	2,211	530
多賀城市	13,895	6,751	1,486	2,566	614
松島町	3,363	1,835	295	559	114
七ヶ浜町	4,134	1,774	443	724	162
利府町	7,788	4,123	926	1,610	362
大和町	5,852	2,571	712	1,261	283
大郷町	1,933	826	160	226	52
富谷市	11,410	5,995	1,448	2,616	472
大衡村	1,470	464	137	229	68
色麻町	1,875	665	152	228	71
加美町	5,396	2,301	508	650	182
大崎市	25,139	13,773	2,715	3,985	1,133
涌谷町	3,565	1,866	250	449	114
美里町	4,908	3,507	533	752	260
東松島市	8,914	4,142	859	1,131	327
女川町	1,698	732	130	207	76
石巻市	25,661	15,116	2,651	3,822	1,047
登米市	17,620	7,838	1,514	2,315	674
気仙沼市	13,529	5,776	1,022	1,553	492
南三陸町	3,022	1,099	199	258	83
栗原市	15,112	8,751	1,411	2,083	540
計	472,963	271,455	52,938	91,924	21,286



宮城選挙区は

桜井充氏

参院選宮城選挙区は、自民党の現職で本連盟が推す桜井充氏が5回目の当選を決めた。桜井充氏の推薦については、宮城における自民党の公認候補が決まった令和4年4月12日の翌日、本連盟常任執行委員会の場

において満場一致で決定していた。桜井充氏の第一声や決起集会には佐藤委員長が人を動員し駆けつけるなど、本連盟を挙げての選挙活動を展開した。

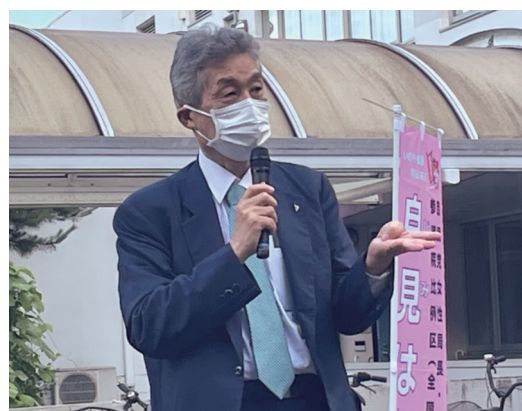
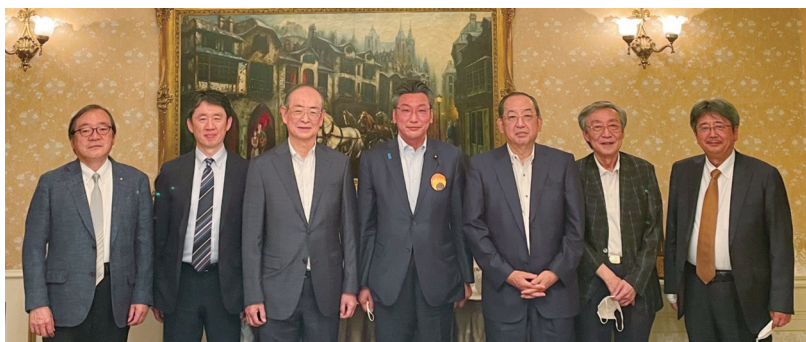
郡市医師連盟との合同会議



医師連盟の組織力強化等について意見を交換



橋本岳議員との意見交換会



令和4年7月1日(金)、日本医師連盟松本吉郎委員長が来仙し、各医療機関に挨拶訪問をした。本連盟からは、佐藤和宏委員長、安藤健二郎副委員長、奥村秀定、菊地徹両常任執行委員、橋本省執行委員が同行した。

日医連松本委員長と医療機関訪問

宮城県医師連盟執行委員会

宮城県医師連盟は、令和4年7月27日（水）午後6時30分より執行委員会をZOOMによるWEB形式で開催し、「宮城県医師連盟人事について」「第26回参議院議員選挙に結果について」「宮城県医師連盟会員入会促進について」審議された。

新役員・執行委員決定

執行委員会は、奥村秀定常任執行委員の司会で開会。まず始めに、役員および執行委員の任期満了に伴い、司会の奥村秀定常任執行委員より本連盟規約に照らし、宮城県医師会長である佐藤和宏先生を委員長としてはいかがかとする委員長選出の提案があり、全会一致で承認された。

佐藤和宏委員長から挨拶があり、その後、佐藤和宏委員長が議長となり、「宮城県医師連盟人事」（表1参照）について提案があり、承認された。

第26回参議院選挙を振り返って

第26回参議院議員選挙の結果について、佐藤委員長より説明があり、「目標としていた票数には届かなかったものの、医療・介護系候補者の中でトップ当選したことの意味は大きい」と今回の結果を評価し、委員に対して感謝の意を伝えた。

また、今回はコロナ禍での選挙戦となり、「特に医療界には厳しい状況にあった」「コロナ禍で地元の政治家との連携が以前のようにとれなかった」など、コロナ禍特有の選挙の難しさについても振り返りがあった。

医師連盟会員の入会促進が必須 組織強化委員会の設立を

宮城県医師連盟会員の組織率について、佐藤委員長は「宮城県のA①会員に対する組織率が令和4年7月1日時点で41%となっており、これは全国ワースト4にあたる」と危機感をあらわにし、「組織強化委員会」の設立を提言した。また、医師連盟未入会の医師会員に対し、医師連盟の重要性を訴えたパンフレットを作成し、配布したいとの考えが示された。



表1 役員・執行委員名簿（任期：令和4年4月1日～令和6年3月31日）

【委員長】 佐藤 和宏

【副委員長】 安藤健二郎 小松 和久 平井 完史 高山 敦
板橋 敏之 板橋 俊隆 丹野 尚昭 赤石 隆
新海 準二 鈴木 啓之 鎌田 修二 袖井 文二
石垣 英彦 千葉 淑朗 八嶋 徳吉 森田 潔
佐藤 和彦 松永 弦 草刈千賀志

【会計責任者】 橋本 省

【会計責任者職務代行者】 登米 祐也

【会計監督者】 及川 正道 佐藤 恒明

【常任執行委員】

宮城県 奥村 秀定 佐々木悦子
仙台市 会川 尚志 佐野公仁夫 長島 道夫 今村 幹雄
関 久友 綿谷 秀弥 福壽 岳雄 菊地 徹
佐々木祐肇 清治 邦章
白石市 大橋 利史 柴田郡 甘糟 仁
角田市 小川 俊哉 亘理郡 三浦 俊治
岩沼市 菊地 悟 名取市 曾我 良輔
塩 釜 渡辺 孝志 黒 川 加藤 圭一
加美郡 鈴木 潤 及川 潤一
大崎市 佐藤 寛 佐藤 龍行
遠田郡 米谷 則美 桃生郡 宍戸 友明
石巻市 佐藤 清壽 登米市 木村 康一
気仙沼市 村岡 正朗 栗原市 島田龍太郎

【執行委員】

宮城県 高階 憲之 安藤由紀子 木村 光宏 石川 一郎
大友 弘美 日野 宏 荒井 啓史 鈴木 裕道
篠原 大輔
仙台市 高橋 剛 大和 一美 只木 行啓 鹿野 英生
森川 みさ 高野 章子
白石市 遠藤 雅人 大橋 隆 河内 三郎
柴田郡 水戸 武三 山家 誠一
角田市 三浦 徳之 三澤 誠一
亘理郡 平田 一夫 柿沼 義人
岩沼市 小島 照正 佐藤 純一郎
名取市 稲村 直樹 桑島 奈子
塩 釜 関口 淳一 樋渡 奈子 高田 修
黒 川 渋谷 和彦 遠藤 敦
加美郡 菅野 陳一郎 有馬 正貴 星 秀二
大崎市 富樫 孝 塩澤 廣重
遠田郡 大江 桂成 高城 利江
桃生郡 河野 秀信 齋藤 雄康
石巻市 佐藤 文彦 佐久間 健彦
登米市 佐藤 幸一郎 三浦 俊之
気仙沼市 志田 章 菊地 淳一
栗原市 佐藤 尚 石橋 弘

【顧問】 師 研也 嘉数 研二 山田 明之 永井 幸夫

編集後記



宮城県医師連盟会計責任者
橋本 省

自見はな子氏の当確は開票速報が始まった午後8時過ぎに早々と打たれた。正直、こんなに早く当確が出るとは予想していなかっただけに、驚きとともに喜びが湧いてきたのは私だけではないだろう。もちろん、ご本人の喜びはいかばかりかと思う。最終的には自民党候補の中では特定枠を除いて6位であり、社会福祉系ではトップであったが、これは大きな意味を持つ。日医役員としての経験から、まさに「医政なくして医療なし」を実感し、今年の診療報酬改定では少なからず悔しさを感じていただけに、日本医師連盟の力を改めて自民党中枢に再提示できたことは、大きな成果であったと考える。

2年後には医療・介護・障害のトリプル改定を迎えるだけに、今回の結果を土台に着実に準備を進めなければならぬ。さらに、3年後の参議院選挙のために、改めて組織の強化を図ってゆく必要がある。特に、参議院選挙比例代表の重要性をあまり意識していない多くの勤務医にそれを理解してもらうため、普段から医政の持つ意味を浸透させるべく活動してゆくことが不可欠であると考える。